

## 令和6年度 第1回居合道三段以下審査会 審査員講評

教士七段 大野 吉紀

令和6年9月28日、東京武道館大武道場において、令和6年度第1回三段以下審査会が開催されました。早朝より審査会の準備に当たられました東京都剣道連盟及び居合道部会の役員、係員の皆様に感謝申し上げます。

指定技は初段・二段・三段共通の、全日本剣道連盟居合1本目「前」、3本目「受け流し」、6本目「諸手突き」、8本目「顔面当て」、10本目「四方切り」が指定されました。

審査は ①正しい着装と作法 ②正確な抜付け、切付け ③正確な血振り、角度 ④正確な納刀 が段位相応であるか否かにより判定しました。

結果は初段が受審者46名中35名が合格し合格率76.1%、二段が受審者42名中34名が合格し合格率81.1%、三段が受審者32名中28名が合格し合格率87.5%でした。合格されました皆様には、昇段をお祝い申し上げます。残念ながら不合格となった皆様は、気落ちせず新たな気持ちで稽古に臨み、次回の審査で合格されることを期待します。

気が付いた点を述べさせていただきます。

### ・礼法について

丁寧な礼法をされていましたが、細かな所作に誤りが見られました。普段の稽古において、礼法が正しく行われているのでしょうか。審査形式で礼法を含めた5本の技を演武することを、稽古に取り入れてください。

### ・足捌きについて

「諸手突き」、「顔面当て」において、次の動作で後ろの敵に振り向くことを意識しての事と思われませんが、踏み込んだ右足が内側に向いている方がおりました。また後ろ足が撞木であったり、後ろ足の踵が床についたり踵が上がりすぎた方もおりました。下半身の動作にも十分な注意を払い稽古に望んでください。

### ・時間超過について

演武時間は、「始め」の号令から最後の携刀姿勢になるまでが6分以内です。残念ながら時間超過で不合格となった方が数名おりました。前述の審査形式の稽古に、時間の計測も取り入れてください。

### ・学科試験について

今回の審査では学科試験の不合格者が、初段で2名、二段で2名、三段で2名、合計6名おりました。学科試験問題の回答は、指定の原稿用紙に2枚に記述し、2枚目は少なくとも

4分の3以上書くこと、とありますので、原稿用紙1枚での提出では不十分です。各地区の指導者におかれましては、受審者の学科試験回答に事前に目を通していただき、適切なるご指導をお願いいたします。

---